

往還ノート

特別
合併号

1学期2号(250号) 2023年7月

放送大学 広島学習センター
福山サテライトスペース

AIを利用する時代到来!

● 広島学習センター客員教授 中田 美喜子 ●



最近の話題として気になるのがAIの登場だと思います。1990年代後半、私はインターネットを教育にどのように利用できるか研究していました。Webで情報発信し、日米の講義でメールを利用して交換講義を行ったり、広島の大学間でビデオ会議を利用した交換講義を実施したり、いろいろな試みを実施・研究していました。コンピュータ・ソフト・インターネット回線の進歩・普及により、今では誰でもインターネットに接続して情報発信を行い、オンライン講義が受講できるようになっています。特に、携帯電話の進歩により、特定の人だけでなく誰でもいつでもどこでも情報を収集し、情報発信をすることが可能となっています。さらにAIやロボットの技術進歩で、さまざまな利用が検討されてきました。

2022年に発表され社会で注目されているAIがあります。ChatGPT(Chat Generative Pre-trained Transformer)というAIです。それは英語だけでなく日本語の質問にもスムーズな日本語で回答してくれます。「ChatGPTとはなんの略ですか」と聞いてみました。回答は「"Chat Generative Pre-trained Transformer"の略

語です。これは、OpenAIが開発した自然言語処理の技術である・・・中略・・・深層学習のアルゴリズムです。」と回答してくれました。説明を聞いてよくわからない場合は、さらに詳しい説明を求めることもできます。「OpenAIとは何ですか」と聞くと「人工知能の研究、開発、普及を推進することを目的として、非営利団体として設立された組織・・・中略・・・影響を与えています。」と、すべての内容が理解できるまで質問を繰り返して回答させることができます。

さて、問題はこのChatGPTをどのように利用していくことができるかということです。政府や自治体の中には、「マニュアル作成・文書作成などにChatGPTを活用していく」と決定したところもあります。また「教育機関においてはどうするのか」も検討されているところです。しかし、AIを利用するにあたっては、情報リテラシーの向上が不可欠です。AIが返答した内容が正しいかどうかを判断し、適切な使い方をすることが必要です。

今後もAIはさらに進化し続けることが予想されます。私たちは、AIを上手に活用しながら、その進化に対応していく必要があります。

目次

● 客員教員寄稿	1	● ご卒業おめでとうございます	7
● 所長室便り	2	● 学位記授与式客員教員祝辞	8
● 事務室からのお知らせ	3	● 学位記授与式所長祝辞	9
● 視聴学習・図書室からのお知らせ	5	● 広島学習センター 卒業生・修了生代表挨拶	10
● 行事のお知らせ	5	● 福山サテライトスペース 卒業生・修了生代表挨拶	11
● スケジュール(7月～10月)	6	● 卒業生・修了生からのメッセージ	12



所長室便り

食料の持続的生産を願って

広島学習センター所長 吉村 幸則

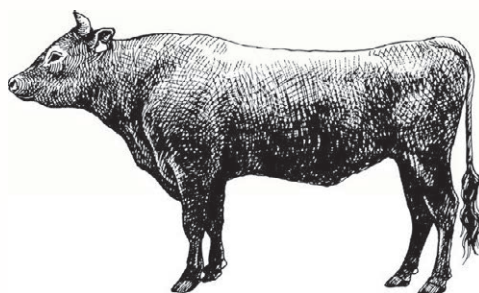


本年5月に広島市で開催されたG7広島サミットでは「法の支配に基づく国際秩序」や、食料安全保障、環境、エネルギー、気候変動、保健、開発などの課題が協議されました。これに先立って宮崎市で開催されたG7農相会議では、環境に配慮した持続可能な農業の生産性向上を支援する政策を促すことで合意があったとのこと。G7広島サミットの成果をもとにした呼びかけにより、各国が地球規模の課題への取り組みを進めることが期待されます。このうち「食料安全保障」は世界の人々が健康に生活するうえで欠かせない重要課題の一つですので、実行が期待されます。

さて、G7広島サミットでの協議事項とは別ですが、会議を迎えるにあたり広島の食材についても頻繁に話題になりました。広島の畜産の特徴の1つとして和牛があげられます。「おいしい広島」がアピールされました。このうち、和牛についてみると、広島で育つ「広島和牛」には現在、広島牛、元就、比婆牛、神石牛の4つのブランドがあるとされています。わが国では縄文期から狩猟により得た野生動物を食していましたが、6世紀中頃に仏教が伝わり、殺生を禁じてきた仏教の影響から、飛鳥時代になると天皇により食肉禁止令が出されました。このため、動物の肉は「葷喰い」と称して一部の人に食されることはあったようですが、肉食が解禁された

明治時代まで肉食はあまり盛んではありませんでした。そのため日本の牛は、農耕のための役用として飼われてきました。こうした中で、広島和牛は江戸時代後期に和牛の系統として確立されたと言われています。広島では鶏肉鶏卵などの畜産物、カキなどの水産物、レモンなどの柑橘類、日本酒など、多くの良質な農産物、水産物、加工製品が生産されています。これらの生産が持続するように期待されます。

家畜を含めた農業生産を増大させ、そして持続可能にするには、良好な環境循環、生産現場のシステムのスマート化や担う人の増加、生産物の安全など多くのことに取り組む必要があります。各国のこうした取り組みにより、G7広島サミットでも重視された「食料安全保障」の一部に貢献できるのではないかと思います。



● 単位認定試験(Web試験)について

試験日程

- Web受験方式(試験期間)：** <第1学期>2023年7月15日(土) 9:00～7月25日(火) 17:00
 <第2学期>2024年1月16日(火) 9:00～1月24日(水) 17:00
- 郵送受験方式※(提出期間)：** <第1学期>2023年7月15日(土)～7月25日(火)(郵送必着)
 <第2学期>2024年1月16日(火)～1月24日(水)(郵送必着)

※「授業科目案内」に「郵送受験(記述式)」または「郵送受験(併用式)」と記載のある一部科目のみ

今学期の単位認定試験は、**Web受験方式(一部科目については郵送受験方式)**にて実施します。実施方法や試験日程が以下のとおり変更していますので、必ず確認をしてください。

1. 実施方法

実施方法は「Web受験方式」を基本とし、一部の科目については「郵送受験方式」により実施します。

Web受験方法

自宅等から、インターネットを通じてWeb単位認定試験システムにアクセスし、問題閲覧・解答提出(送信)を行います。
 (試験期間内であればいつでも受験可能)

- ▼ 1科目50分の制限時間があります。(一時停止不可、1回のみ受験可能)
- ▼ 科目ごとに「択一式」「記述式」「(択一式と記述式の)併用式」のいずれかの形式で出題されます。
 - ・択一式問題: 選択肢をクリックして解答します。
 - ・記述式問題: 解答記入欄に文字入力して解答します。



郵送受験方法

※「**正多面体と素数(21)**」(記述式)、「**日本美術史の近代とその外部(18)**」(記述式)、「**量子化学(19)**」(併用式)のみ

- ▼ 7月上旬ごろ大学本部から送られる問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて、郵送で解答を提出します。
- ▼ 試験時間の制限は行いません。

※郵送受験方式の科目については、パソコンは使用しないため、学習センターでの単位認定試験は実施しません。



学習センター等で受験申請書を提出した方

- ▼ 「Web受験方式」の科目を登録している方で、ご自宅等にインターネット環境がない、またはパソコンの操作が困難等のご事情があり、自宅等でのWeb受験が困難な方で、学習センター・サテライトスペースでの単位認定試験受験を申請された方のみ受験していただけます。※2023年度第1学期の申請受付は終了しています。

〈申請方法〉「学習センター受験申請書」(印刷教材等に同封)を郵送提出

〈申請受付期間〉<第1学期>2023年 4月1日(土)～5月24日(水)(受付終了)
 <第2学期>2023年 10月1日(日)～11月24日(金)(郵送必着)

- ▼ 「Web受験方式」の科目を学習センター等で受験する場合、「授業科目案内」及びシステムWAKABAに記載の試験日・時限に受験する必要があります。
- ▼ 学習センター等で受験する場合でも、原則として「試験問題の閲覧」および「択一式の解答」は、学習センター等のパソコンを用いてご自身で行っていただきます。

2. 認定試験体験版について

現在、システムWAKABAでは、Web単位認定試験体験版が利用可能です。

実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、受験に使用する予定のパソコン等から、単位認定試験期間前までに必ず体験版の操作を行ってください。

Web 単位認定試験体験版 アクセス方法

システムWAKABA ➡ 学内リンク「Web単位認定試験」(システムWAKABA TOP画面右側) ➡ 科目一覧「Web単位認定試験体験版」

●次学期の履修手続きについて

学生生活の葉(大学院P56～/教養学部P55～) 参照

①次学期も学籍のある方 次学期に履修する科目の科目登録申請を期間内に行ってください。

	申請期間	申請方法
インターネット	8月15日(火)9:00～ 8月31日(木)24:00	システムWAKABAの「教務情報→科目登録申請」から手続きを行ってください。
郵 送	8月15日(火)～ 8月30日(水)本部必着	7月中旬に送付されます科目登録申請票に次学期に履修したい科目を記入のうえ、大学本部へ郵送してください。

②今学期で学籍の切れる方 引き続き放送大学で学習されたい方は、継続入学手続きを期間内に行ってください。

	申請期間	申請方法
インターネット	【第1回募集】 8月31日(木)24:00 【第2回募集】 9月12日(火)17:00	システムWAKABAの「教務情報→継続入学申請」、もしくは放送大学ウェブサイトのインターネット出願から手続きをしてください(教養学部への継続入学生で面接授業も登録したい方は下記◎部分を参照してください)。
郵 送	【第1回募集】 8月31日(木)本部必着 【第2回募集】 9月12日(火)本部必着	7月中旬に送付されます継続入学用募集要項(※)もしくは一般の募集要項に必要事項を記入のうえ、大学本部へ郵送してください(選科・科目履修生から全科履修生に継続入学する場合は、一般の募集要項にて手続きをしてください)。 ※集団入学、共済組合を利用しての入学、自主退学者には送付されません。

③今学期末に卒業見込みの方 成績判定後に次学期に向けて手続きを行ってください。

必要な手続き	手続きに該当する方
科目登録申請(①参照)	今学期末で卒業できなかった方で、 次学期も学籍がある場合 。
継続入学(②参照)	今学期末で卒業できなかった方で、 次学期に学籍がない場合 。
	今学期末で卒業される方で、 引き続き放送大学で学習を続けたい場合 。

④しばらく科目登録していない方

全科履修生は連続して4学期(2年)間、科目登録申請及び授業料納入を行わないと除籍になります。連続して3学期間、科目登録手続き、授業料納入を行っていない方は、この機会に科目登録申請を行い、学習を再開しましょう。

◎継続入学生が学期当初から面接授業の登録申請をする場合

教養学部(全科履修生・選科履修生・科目履修生)への継続入学生で、学期当初から面接授業の登録申請を希望される方は、**科目登録申請期間中(8月15日(火)～8月31日(木))にシステムWAKABA(「教務情報→継続入学申請」)から出願を行う必要があります。(郵送での受付はありません。)**

- 科目登録申請期間外に継続入学申請を行った場合、面接授業の科目登録申請はできません。
- 出願時には、1科目以上放送授業又はオンライン授業を登録する必要があります。面接授業の登録申請のみでは出願できません。

●次学期の学生証の交付について

学生生活の葉(大学院P24～/教養学部P18～)参照

9月末で学生証の有効期限が切れる全科履修生の方、次学期に継続入学される方の学生証は **10月3日(火)から交付** できます。
有効期限が切れている方は旧学生証を、継続入学される方は旧学生証と「入学許可書」を事務室窓口まで持参してください。なお、学生証交付にあたっては、必ず学生本人が手続きを行ってください。
顔写真を新しくされたい方は、更新の1か月前に学生生活の葉巻末にある「写真票」を放送大学本部学生課まで郵送いただくか、システムWAKABA「教務情報→学生カルテ」から変更してください。システムWAKABAは有効期限日の2か月前より変更可能です。

● 視聴学習・図書室の学期末臨時閉室について

次学期準備のため、広島学習センター視聴学習・図書室を9月26日(火)～30日(土)の期間、閉室します。図書の貸出・返却手続きは事務室にて行いますので、窓口までお越しください。
福山サテライトスペース図書室は通常通り開室しています。

● 広島学習センター配架雑誌バックナンバー配布について

2022年度第1学期に広島学習センター視聴学習・図書室に配架していた雑誌のバックナンバー(2022年4月号～2022年9月号)を、下記期間中に無料配布いたします。引き取りを希望の方は、先着順で自由にお持ち帰りください。なお、雑誌の予約申込や配送(着払いも含む)は受け付けておりません。

◆配布期間:8月16日(水)～8月31日(木)

◆場 所:広島学習センター視聴学習・図書室(3階)

◇配架雑誌◇

英語教育／栄養と料理／こころの科学／インターフェイス／情報処理／ニュートン／月間福祉／文藝春秋／法学セミナー／臨床心理学／National Geographic

行事のお知らせ

2023年度 広島学習センター文化祭
作品展示募集

今年も広島学習センターにおいて、文化祭を開催します。つきましては、学生の皆様より、文化祭で展示する作品(絵画、写真、俳句、短歌、ほか美術作品等)を募集します。作品展示を希望される方は、下記申込書に記入していただき、**10月8日(日)**までに事務室へ提出してください。

文化祭
日時

10月28日(土)
10:00～17:00

展示会場

広島学習センター中講義室・小講義室(4階)(予定)

2023年度 広島学習センター文化祭
作品展示申込書

申込締切【10月8日(日)】

学 生 番 号		氏 名	
電 話 番 号		メールアドレス	
団 体 名 (学生団体のみ)			
展 示 作 品 の 内 容			

※学生団体での申し込みの場合は、代表者の学生番号・氏名を記入してください。

※展示用パネルは事務室で用意します。

※展示作品は10月22日(日)までに広島学習センターに搬入してください。

公開シンポジウム

公開シンポジウムを開催いたします。是非、ご参加ください。

(講演内容の詳細は、決まり次第広島学習センターホームページへ掲載します。)

日時

令和5年10月28日(土)
13:30~16:30

場所

放送大学 広島学習センター 大講義室(3階)
(広島大学東千田キャンパス内)

スケジュール (7月~10月)

2023 **7** JUL

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
祝 17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

7日(金) Web単位認定試験体験会
8日(土) 大学説明会(庄原)
9日(日) 大学説明会(広島・福山)
15日(土)~25日(火) 単位認定試験
(大学院・学部)



2023 **8** AUG

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	祝 11	※12	※13
14	※15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	

12日(土)~15日(火) 夏季閉所日
15日(火)~30日(水) 科目登録申請期間(郵送)
15日(火) 9:00~31日(水) 24:00 科目登録申請期間(web)
19日(土) 大学説明会(庄原)
20日(日) 大学説明会(広島・福山)



2023 **9** SEP

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
祝 18	19	20	21	22	祝 23	24
25	26	27	28	29	30	

3日(日) 公開講演会
3日(日) 大学説明会(広島・福山)
24日(日) 学位記授与式・入学者の集い(広島・福山)
26日(火)~30日(土) 視聴学習・図書室
学期末臨時閉室



2023 **10** OCT

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
祝 9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

1日(日) 大学院入試筆記試験
14日(土) 12:00 面接授業空席発表
19日(木) 面接授業追加登録受付開始(抽選日)
28日(土) 文化祭・公開シンポジウム



閉所日(月曜日、祝日、所長が必要と認めた日) ※臨時閉所日

＜ご注意ください＞

8月12日(土)~15日(火)は、広島学習センター・福山サテライトスペースとも閉所いたします。

卒業・修了 おめでとうございます。

2023年3月26日(日)に、2022年度第2学期学位記授与式を行いました。



広島学習センター



福山サテライトスペース

2022年度第2学期 卒業生数

学生所属	広島学習センター	福山サテライトスペース
生活と福祉コース	19名	4名
心理と教育コース	30名	2名
社会と産業コース	8名	2名
人間と文化コース	7名	4名
情報コース	4名	5名
自然と環境コース	5名	1名
合計	73名	18名

2022年度第2学期 修了生数

学生所属	広島学習センター	福山サテライトスペース
生活健康科学プログラム	—	—
人間発達科学プログラム	1名	—
臨床心理学プログラム	—	—
人文学プログラム	—	1名
情報学プログラム	1名	—
自然環境科学プログラム	—	—
合計	2名	1名

教職員一同、皆様のご健勝とご多幸、益々のご活躍を祈念しております。

学位記授与式客員教員祝辞

広島学習センター客員教授
加藤 範久



この度は、ご卒業おめでとうございます。実は私も今月でこちらの放送大学を退職することになりましたので、感慨深いものがあります。これまで学生の皆様、関係者の皆様には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

私は広島大学を卒業して約半世紀にわたって、栄養学の分野で研究を行ってきました。その過程で学んだ最も大切なこととしてセレンディピティーがあります。セレンディピティーは仕事の上でも、人生をおくる上でも重要なヒントを含んでおりますので、ここで皆様にご紹介します。セレンディピティーとは思いもかけなかった偶然がもたらす幸運のことです。幸運を引き寄せる力とも言われています。セレンディップが現在のセイロンのことで、セイロンの若い三人の王子の童話からきているそうです。セレンディピティーという言葉は科学の分野で実験の失敗が思わぬ発見につながったときによく使われます。例えば、フレミングのペニシリンの発見はその典型例です。

そこでご紹介したいのは、セレンディピティーを生み出すために必要な三要素です。第一に「行動」です。ただ座っているだけでは幸運はやってきません。好奇心を持って何かに挑戦することです。行動に関しては私自身が意識していることがあり

ます。それは異なる分野の人たちと積極的に交流し、世界を広げることです。第二が「気づき」です。意識して物事を見ているかどうかです。漫然としていると大抵は流されて見過ごしてしまいます。思いがけないことを観察して心が動くことで思考がスイッチオンになります。古い価値観や先入観がありますと発見が妨げられます。日頃から自分の周辺でいま何が問題になっているのか関心を持ち広くアンテナを張っておくことが大切です。第三が「受容」です。発見したことについてじっくり考え、その発見したことの意義を考えます。ここでは、それまでの学問的な知識や経験、世界観などが問われます。古い価値観や固定観念は捨てることで、自分自身が変わることになります。

新型コロナウイルス感染症という逆境にもかかわらず放送大学でのこれまでの皆様の挑戦は称賛に値します。この経験は必ずや将来プラスになると考えております。さらに、これからも色々なことにチャレンジしていただき、幸運を引き寄せていただければ幸いです。以上が私からの祝辞で、皆様へのエールです。今後の皆様のご発展を心より祈念しております。この度は、誠にありがとうございます。



卒業・修了おめでとうございます

お祝いの言葉

広島学習センター
所長 吉村 幸則

卒業生と修了生の皆様には卒業ならびに修了おめでとうございます。2022年度2学期には、広島学習センターと福山サテライトスペースから学部を91名の方がご卒業になり、修士課程を3名の方が修了になられます。名誉学生になられ、広島学習センター特別表彰を受けられた方は6名おいでです。教職員一同心からお祝い申し上げます。

皆様は、いろいろな目的をもって放送大学に入学され、ご自身の学びを深められたことと思います。最近の3年間は新型コロナウイルス感染症に対応されたり、2022年度は新たに導入されたwebでの単位認定試験にも対応されたりして、ご苦労も多かったことと思います。一方で、授業を担当されている先生方から、皆様が学ぶ意欲に溢れているということをよく聞きました。中国・四国ブロックの学習センター所長の著書で、「学びは過去とは違う新しい自分になる行為」と述べられています。また、広島の歴史を紹介する本の中では、広島では自動車をはじめとする技術開発やモノづくりが活発であったことがよく紹介されています。こういった技術開発はチャレンジの心とともに勤勉さがあつての賜物だろうと思います。私た

ちも広島の先人にならって、学びを続け、そしてチャレンジする気持ちを持ち続けたいものです。

現在、世界はロシアによるウクライナ侵略や、大量破壊兵器の使用リスクの高まりという、未曾有の危機に直面しています。本年5月にはG7広島サミットが開催されますが、各国の首脳が被爆の実相に触れ、平和への思いを共有することで、「核兵器のない世界」の実現へ歩むように期待されています。広島学習センターでは10月の文化祭の日に、昨年に続いて「平和」を考える公開シンポジウムを開催する予定です。皆様にはご卒業になられますが、平和を希求する願いを一緒に大切にしましょう。

皆様には放送大学で知り合った方が沢山おいでだと思います。大学の友人との「つながり」を大事にすることは、きっと気持ちを豊かにしてくれると思います。ご卒業後も「つながり」を大切にしてください。広島学習センター同窓会も応援して下さることでしょう。

皆様には、これからも健康に留意され、ご活躍されることを願っています。

令和5年3月 吉日

卒業生・修了生代表挨拶

広島学習センター卒業生・修了生代表 宇都宮 千賀子

〔大学院文化科学研究科(修士課程) 人間発達科学プログラム〕

僭越ながら卒業・修了する学生を代表してお礼を述べさせていただきます。水の都広島川の土手を桜の花が覆い始めたよき日に、私たち卒業生・修了生のために、式典を開催していただき誠にありがとうございます。また広島学習センター吉村所長様ならびに加藤客員教授様から暖かいお祝いのお言葉を頂戴し一層の喜びを感じております。

卒業生・修了生は、一人ひとりが異なる多様な動機、目的、思いを持って放送大学に入学しており、学習のペースもまたさまざまです。学生の多様な学修を可能としてくださる放送大学に入学できましたことは、幸運であり、卒業・修了にあたりこの学びの場があってこそ私たちは学修を続けることができたという思いを強くしており、心より感謝申し上げます。

私の場合は、定年退職するまでの間携わった、児童福祉の仕事の中で大切にしてきた「親子の関係を強めるための子育て支援」についてまとめてみたいと思い、修士課程を志しました。現場では経験を積んだ仕事ではありましたが、改めて研究に着手するとすると、学ばなければならないことが山積でした。そのことは入学試験の際にも試験担当の先生からご指摘があり、心して入学したことではありますが、進める中で研究の意義と困難さを改めて感じました。

入学したのは2020年4月で、新型コロナウイルス感染症感染拡大の始まりと重なりました。放送大学は通信教育の実績があり速やかに学習体制を整えていただいたおかげで、授業には大きな動揺はなく継続することができました。研究活動の方は、現場に臨むことも自粛せざるを得ない時期があるなど、あきらめかけた時期もありまし



た。しかし、ゼミでは、少しずつでも可能な形で進めるように、常に前向きに励ましてさまざまなヒントをお示しくださり、何度かのコロナ波の合間を縫うようにして、何とか進めることができました。

経験だけで終わらず、少しでも研究としてまとめることで、今後取り組みたいことも明確になったことは大きな収穫でした。修了後はまた現場において、できることに取り組んでいきたいと思います。ようになり、これからの生き方に大きなサポートをいただきました。

仕事をしながらでしたので、ゼミ発表前に大慌てで準備し、深夜諦めの気持ちになっても朝大谷選手のホームランのニュースで再度気を取り直したことなどが思い出の中に織り込まれています。

広島学習センターでは、研究の質問の時間をとってご指導いただいたこと、単位を確認していただきに伺った際には、一緒に喜んでいただいたことがあり、暖かいサポートをいただきありがとうございました。

今後の放送大学の益々のご発展、教職員の皆様のご健勝を祈念しまして、お礼のご挨拶とさせていただきます。

卒業生・修了生代表挨拶

福山サテライトスペース卒業生・修了生代表

小林 義宏

〔大学院文化科学研究科(修士課程) 人文学プログラム〕

本日、私たち卒業生・修了生のために学位記授与式を催していただき、誠にありがとうございます。

私は、努力を継続され卒業される皆様の代表として挨拶するにふさわしいものではありませんが、この場で皆様と対面し、改めて皆様と一緒に学んできたことにちょっと誇らしい気持ちを感じています。

さて、私が放送大学で学ぼうと思ったのには、いくつかの不純な動機と純粋な目的がありました。

不純な動機のひとつは、福山と千葉で学べること。福山と東京にいる息子家族に会える機会が増えることでした。現在私は66歳です。七人の孫がいますが、この年になると孫は本当にかわいいのです。孫に会いたいというのが大きな動機でした。

もう一つは、現役を引退し、刺激が少なくなったこともあり、物忘れが多くなりました。新しいことを学び、考えることや文章をまとめることで、脳を刺激して、ぼけ防止をするためでした。残念だったのは、ふた月に1回行くはずだった千葉の放送大学に新型コロナウイルス感染症のせいで1回も行くことができなかったことでした。

純粋な目的は、定年退職して「自分の死のあり方」を考えたいと思ったとき、若い頃から憧れていた「西行法師」の生き方を研究してみたいと思ったことでした。世俗に染まらず自らの思いのままに生き、「願わくは 花のしたにて 春死なん その如月の 望月のころ」の自らの和歌どおりに、最後を迎えた生き方は私にとって理想の生き方のように思えたからです。

研究をしていく上で、多くの書物を読んだり、香川の白峯寺・大阪の弘川寺・奈良の吉野・高野山など西行ゆかりの地に訪れたりしたことは良い思い出になっています。また、修士論文を指導くださった魚住孝至教授が、昨年末に東京で行わ



れた西行展の図録を送ってくださったことは大きなサプライズでした。多くの指導・助言をしてくださった魚住先生には感謝しております。この場を借りてお礼を申し上げます。

修士論文を書き終えましたが、学びが終わったわけではありません、学んでいると次々に知りたいことが増えていきます。今も新しい課題に関係する本を読んでいます。

「には照るや 風たる朝に 見わたせば 漕ぎゆく跡の 波だにもなし」これは、西行が歌を詠むことをやめたことを誓った後、晩年に詠んだ和歌です。「照りかがやくように風いだ琵琶湖の湖面を眺めていると、漕いでいく船も波一つ立てない」という意味で、静かで満ち足りた気持ちを表しています。このような思いを感じられるようになるために、学習を継続していきたいと考えています。

学ぶことで自己肯定感が増していき、心の平安が訪れます。これからも自己満足のために学び続けたいと思います。

最後になりましたが、私たち卒業生・修了生をサポートしていただきました福山サテライトスペースの皆様には感謝いたします。今後も学び続ける意思のある人たちを支え続けていただきたいと思います。本日は誠にありがとうございました。

卒業生・修了生からのメッセージ

2022年度第2学期卒業生・修了生の皆様より、
卒業にあたっての思いや、これから学ぼうとする
学生の皆様へ向けてのメッセージをいただきました。

生活と福祉コース卒業

平田 健志

この度「生活と福祉コース」を卒業して、放送大学7回目の卒業となりました。

初めて、放送大学に入ったのが、学生番号から分かるように98年の2学期。最初は、お試しのつもりで科目履修生として山口学習センターに所属しました。ところが、入学して半年で鳥取に転勤になったので、今度は選科履修生として鳥取学習センターに所属しました。そして、広島に転勤してきたときに全科履修生となり、幸いにもその後他県への転出もなく現在に至るという訳です。初めて放送大学に入ってから気が付いたら20年以上経っていました。そして卒業も7回したので、全科履修生としては、これ以上入るところがないようです。今後は、興味のある科目があれば、選科もしくは科目履修生として、お付き合いしたいと思います。

高橋 師弟桜

2年前「社会と産業コース」を卒業したばかりですが、2回目の卒業を迎えることになりました。年を取ると体のあちこちが痛くなり、若い頃に事

故っていればなおさらです。心身ともに健康な状態で学びの生活を継続したいものです。そのためにも、これからは常に健康を意識しながら科目選択と学びの効率を考えたい。高度情報化社会ゆえ、今のうちに「情報コース」にも挑戦です。仕事の主として「相続110当番」ですが、民生委員行政も今年度からタブレットの使用が考えられているおり、ますます行政のデジタル化が進んでいきます。生活が便利になるのは良いのですが、物事には常に「光と影」が付きまとうもの。情報リテラシーを高めて、物事の本質や時代の変化を理解し、流れについていけるようにしたいものです。さあ、桜を眺めながら、新たな希望と勇気を振り絞って頑張りましょう！関係の皆様、大変お世話になりました。

若狭 知秀

20数年前に別の大学を中退したままでしたが、2021年4月に3年次編入生として入学しました。学歴、学問の上では所謂ドロップアウトした私を勉学の場に連れ戻してくれたのが放送大学であったと思います。コロナ禍で単位認定試験が自宅受験になるという特殊な事情もあってか、学生支援給付金をいただける僥倖にも恵まれました。長年待ち望んでいた学位を取得できるの

は本当に感無量です。教職員の皆様、学友の皆さんありがとうございました。引き続き再入学して「社会と産業コース」に在籍します。新たな入学者の方々含め、またよろしく願います。

心理と教育コース卒業

中野 浩子

私は教員をしております。子育てが終わり、自分の時間ができたことを機会に、放送大学で学ばせていただきました。児童理解を深めることと、定年退職後にキャリアを生かした仕事をするため、資格取得を目的として学習を開始しました。どうすればいいかと迷うこともありましたが、広島学習センターの皆様により丁寧に教えていただき、ありがたかったです。また、教員の他に、家業や家事などの仕事もある中で、夫をはじめ家族の理解や協力があつたことが、卒業を迎えることができた一番の理由だと思います。支えてくださった周囲の皆様には感謝しております。今後は、抽選で受講が叶わなかった面接授業のため、再入学させていただく予定です。同時に大学院にも入学させていただき、学びを深めたいと考えています。

ところで、私は人に教えることと学ぶことは表裏一体だと思っています。常に最新の理論を学び、それを子供達や教育現場に還元することで、周囲の皆様にご恩返ししたいと考えています。「教えることは学ぶこと、学ぶことは生きること」という思いを持って、これからも歩み続けます。放送大学の皆様、周囲の皆様、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

お世話になりました

在校生の皆様お疲れさまです。リアルn刀流

でお忙しいとは存じますが、せっかくですので授業でも楽しんでいただければと思います。例えば履修科目外の“つまみ食い”(特定回のみ視聴)。フェイクや煽情なく、またそこらの番組よりよほど面白いと思います。

さて、迷走する世に是非に及ばずと嘯いていた私も内心は思案。心技体のゆるキャラ化を無視し本校の門を叩きました。そして先生方はもとより事務室のご助力を得て卒業。今後も本校から得たことを矜持として頑張る所存です。

石原 栄江

心理と教育コースの履修を終えて、感じたこと。「大学の勉強って楽しい」と思いながら勉強していました。専門分野なので難しい言葉に四苦八苦しましたが楽しく勉強できました。しかし、仕事をしながら希望の面接授業を受けるための日程調整が難しかった私にとっては、予定の年数を大幅に費やしての卒業。なので、感動しています。

時間はかかったものの興味のある勉強でしたので、終了することに寂しい気持ちがありますが、ひとまず一区切り。でも、心理の勉強は、これからも続けていこうと思っています。

保見 好一

予定通り4年で卒業でき、晴れて「大卒」となりました。通信制の大学ということで大きな期待をしていませんでしたが、予想を大きく裏切られ、大変充実した時間を過ごすことができました。この4年間は、保育士取得、卒業研究、認定心理士取得と今後の人生を大きく変えるものとなりました。次の目標は、大学院で研究を続けることと臨床心理士の取得です。「学びの大切さ」に気付かせてくれた放送大学には感謝しかありません。

先生方、ありがとうございました。

人間と文化コース卒業

岡原 秀貴

あっという間の卒業だった。多くの関係者の方々に助けられ、お世話になったことをこの場を借りて感謝いたします。有難うございました。

何かを学びたいと思う気持ちは崇高である。学ぶのに遅い早いは関係無く、楽間は死ぬまでの長い旅のようであり、どこまで言っても完成は無く未完成のまま終わる。

これからは浅く薄い知識を、立体的に現実的に応用していきたい。

さらに磨きをかけて、好奇心を持ってこれからも学び続けることを宣言する。

中野 孝二

4コース目の卒業となりました。ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響もあって学習センターに出向く機会が減り、単位認定試験の受験もリモートで味気ないものになりました。入学当初より中国5県と福山の学習センター6か所を回って面接授業を受けたいと考えており、昨年秋ついに達成しました。自分の苦手な分野が自覚できたのですが克服できるに至っていません。今年の春からは5コース目にチャレンジしていきます。

河村 恵美子

50歳を過ぎて、人生を振り返り、思い残しを考えた時、それは勉強でした。本を読むのが苦手で、一学期に多くて5科目程しか受講しなかったのも、卒業までに7年半かかりました。あらかじめ印刷教材を読んで授業に臨み、問題にも取り組んで復習しました。公開特別講座にも参加しました。毎回、新しい発見があり、とても有意義な

時間を過ごしました。Never too late. 何歳からでもスタートできます。今後はご紹介いただいた本を読もうと思います。

後藤 朋子

9年。ほぼ「ひと昔」と言われる年数をかけ、やっと卒業にこぎつけた。いや、楽しい9年間だったのだから「こぎつけた」は表現として違うのかもしれない。

入学のきっかけと動機は、「枕草子」などの古典文学を深く読んでみたかったから、そして大学卒業者が手にする「学位」なるものが欲しい、という単純にして少々不純なものでもあった。

しかし、ひとつ知ること、そこから興味の赴くままに世界が広がり、知らなかったことを知っていくことは楽しい日々だった。試験前のドキドキと緊張さえ、その後の解放感を予感すると心地よいものだった。

というわけで、こんな楽しい学生生活はまだまだやめられない。4月から新たな学部で再入学、再スタートの予定だ。

情報コース卒業

菊地 玲子

苦手な科目の一つでしたが、それを克服するつもりで情報を取りました。今までの知識を総動員して、新しい知識を何とか消化しました。四苦八苦するうちにどうにか授業の単位を取り終えました。別のコースに移りますが、これからも情報の科目を取り続けようと思います。

自然と環境コース卒業

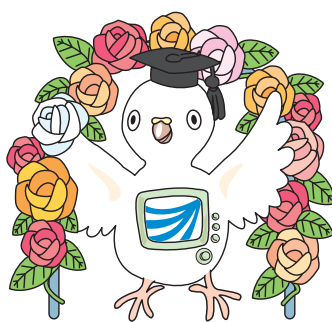
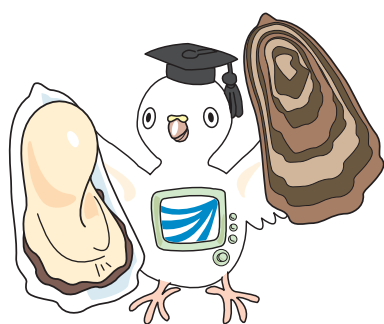
西川 博

定年退職後の再学習、楽しくもあり苦しくもありました。卒業をうれしく思っています。特に数学に力を入れ「微分方程式」の単位をとれたことに満足しています。また、自分に馴染みのない分野の科目の学習を進めることにより、視野が広がったように感じています。情報過多の中、事実を見極める能力が問われる時代です。そのためには、基礎的な科学的知識の習得と様々な分野で研究を重ねておられる先生方の知見を伺うことが大切です。放送大学は、世界に誇れるシステムであり、これからもさらに社会的役割が高まるでしょう。関係者の方々の一層の活躍を期待します。

高田 光枝

自然と環境コースでは、現在社会の問題点の深い科目を多く学んだ。特に『植物』に関するものでは「私たちの生命を支えている生き物は生物である」「これまで社会経済活動の多くは、植物の生をほとんど考慮することなく、ヒトを中心とした視点から繰り広げられた」(『植物の科学』印刷教材)。これからの生活を見直す良い機会を得たと思う。放送大学での学びは、「知るを楽しむ」「学べる喜び」などであると考えている。





広島学習センター

〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-89
(広島大学東千田キャンパス)
TEL 082-247-4030
FAX 082-247-4461

福山サテライトスペース

〒720-0812 福山市霞町1-10-1
(まなびの館ローズコム3F)
TEL 084-991-2011
FAX 084-991-2012

メールアドレス

hiroshima-sc@ouj.ac.jp

ウェブサイト

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/hiroshima/>